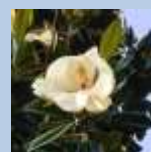


佐倉市立上志津中学校

泰山木



H26.2.27
発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	108名
2年生	115名
3年生	115名
計	338名



卒業・進級を前にして...!

校長 山口 俊久

技術科室前の紅梅に、鮮やかな花が咲いています。春が近づいてきたんだなと思った矢先、大雪。それも二週連続でした。哀しいことにお亡くなりになった方や多大な被害を被った方、そして未だに交通手段が閉ざされ生活にも困つていらっしゃる方々もおいでで、心からお悔やみ申し上げます。二度に渡るどか雪を、部活動の部員たちや先生方の奉仕作業で除雪を行い、給食も予定通りに準備でき、始業時間や下校時間の変更はありませんが、教育活動を展開することができませんでした。休日・祝日にも関わらず登校し、除雪作業を行ってくれた生徒もいました。調理員さん、給食食材の業者さん、生徒・先生方、本当にありがとうございます。



ここで考えてほしいことがあります。自宅から学校まで、みんなが登下校する道のりの除雪はどうでしたか？ 少なくとも、みんなが歩ける程度には除雪がしてあったのではないのでしょうか。地域住民の方々に感謝ですね！休日や下校後に地域の方々と一緒に除雪作業をやった中学生はどれくらいいるのでしょうか。中学生のパワーは凄い！ことは誰もが知るところ。『地域の一員として、中学生が活躍していた』なんて聞けるようになるといいですね。

さて、いよいよ三月に入りました。卒業・進級の時期です。

『人が社会に出て必要なのは、自分以外のすべての他人に喜びを与えることです。少なくとも、他人に不愉快な思いをさせないことです。自分だけが幸せになればいいものではありません。幸せというのは、まず自分が努力して幸せになったら、その次には、幸福を人と分かち合うことです。そこで初めて、本当の幸せになるのです』

この文章は、元NHKアナウンサー鈴木健二さん著作『続、気づばりのすすめ』の中の一文です。

親は、「健康であってほしい」「元気な子に育ってほしい」などと願い、みんなを育ててきたと思います。と同時に、「他人には迷惑をかけない人に育ってほしい」と願う親御さんも多いと思います。文章のような人にはなれなくても、そんな生き方をしたいと私は思っています。みなさんはどのようにお考えですか。

話は変わりますが、印旛管内の私立高校の卒業式で校長先生が次のような話をされました。

「私は元〇〇銀行の代表取締役をしていましたが、社員を採用するにあたり、次の三点を大事に決定しました。

- ① 欠席が少ない人を採用します。
 - ② あいさつがきちんとできる人を採用します。
 - ③ 部活動をやっている人を採用します。」
- というような話でした。その銀行では、成績はほとんど見ないで可否を決定したそうです。

企業としては、休みが多い人は収益が上がらず困るだろうし、健康で休みのない人がいいということですね。

次に、世の中に出て一番の基本となる『あいさつができる人』が求められているということです。ましてや、部活動をやっている人は、技術を追い求めているのは勿論ですが、異年齢集団ということもあり、社会性が身についているであろうし、礼儀もしっかり指導され身についているだろう、頑張りぬくという精神力が鍛えられているであろうということだと思えます。約十年くらい前の話ですが、今でも通じる、中学生にも心してもらいたいと思い、今月号に記載しました。

三年生は公立高校後期試験が終了し、結果を待つのみ！全員の進路先決定！ みんなの願いです。

一・二年生は期末テストが終わり、『予餞会』に向けての準備の最終段階です。どのような楽しい会を演出してくれるのか、今から楽しみにしています。

卒業式まで半月足らず。学びなれた校舎や友ともわかれわかれとなります。良き思い出をいっぱい作ってほしい。上志津中学校の生徒で良かった！と思って卒業して行ってほしい。大きな拍手と感動的な歌声で、百十五名の卒業生を送ってあげましょう。

地域や保護者の皆様方には、今年度も大変にお世話になりました。皆様方のご支援のお陰で、無事に一年を過ぎようとしています。ありがとうございます。



新入生体験入学から 一学年主任 八谷 京子

二月二十一日、南志津小と下志津小から来年度入学する六年生を迎え、新入生体験入学が実施されました。六年生が体験入学のために来校するということで、いつも以上に一生懸命に清掃に取り組み姿が見られました。迎える上中生もわくわくしているようでした。三年生引率による授業見学、パワーポイントを使った生徒会本部役員による学校紹介、学習・生活・行事について一年評議員による説明等が行われ、その後、部活動を見学しておよそ二時間の体験入学が終了しました。背筋を伸ばし、しっかりと話を聞いている姿に、4月再会する日が楽しみです。



「落ちてこない・倒れない」場所へ 安全主任 竹内 潤

今回の避難訓練は地震発生の直後にどのように危険を回避するか(二次避難)を目的に、昼休みに実施しました。反省会では、自分のとった行動を発表し、どうするのが良かったか、自分だったらどうするかなど話し合いました。いつ地震がきてもその場で最良と思われる避難ができるように考え、動けるようにしておくことが大事です。安全な場所とは「落ちてこない、倒れてこない」ところです。今回のような避難訓練は、上志津中では初めてでしたが、今後も実施していきながら、生徒の避難する力を高めるとともに、学校としてもその対応策を検討していきたいと思います。



携帯電話安全教室報告 生徒指導 布施 智之

二月十七日(月)、本校ICTサポーターの渡辺健志さんを講師に迎え、全校生徒・保護者に向けて、「携帯電話・インターネット安全教室」を実施しました。本校の携帯電話・スマートフォンの所持率は、三年生で六二・五%。上志津中全校では六一・二%です。千葉県全体では、中学三年生の七八・八%が、全国では、中学三年生の六八・五%が所持しているというデータからすると、決して高いわけではありません。しかし、七割をこえる生徒から、携帯電話・スマートフォンが「ないと不安」「あったほうが良い」との回答がありました。講座では、情報モラルや、ネットの危険等をクイズやシミュレーションを交えて楽しく学ぶことができました。また、急速に普及しているLINEの上手な使い方、「ゆるく、できとうに」「キーワードはCOOLに」等の話は、生徒も大いに勉強になったようでした。

さて、本校の生徒のアンケートから分かったことで気になることを二つ。「ネットを介して実際に会ったことのない友達はいいますか?」という質問には約三三%の生徒が「いる」、中でも約一四%の生徒が「十一人以上」と回答しています。大人にとっては、「そもそも会ったことがないのに友達なの?」というところもあり、価値観の違いを感じました。また、「家庭でルールやきまりはありますか?」という質問には、五九%の生徒が「特にない」と回答していることから、大人と子どもがきちんと話し合い、ルールをつくっていく必要性が改めて見えました。みなさんのお家ではいかがでしょうか。



お知らせ

●離任式の日程が、3月28日(金)9時に変更になりました。卒業生、保護者の皆様等は、8時50分までに体育館玄関へおいで下さい。

●職員玄関に表彰関係のトロフィーや生徒作品を展示するガラスショーケースを購入しました。現在、3年生の美術作品「印章」を展示しております。学校へおいでの際はぜひご覧下さい。

題字下写真：家庭教育学級最終研修のフラワーアレンジメント。講師の先生の作品をいただきました。



給食献立検討委員会を終えて 栄養士 北村 麻里子

二月五日、保護者の方をお招きし、給食献立検討委員会を行いました。この取組は一昨年からは始まり、今年で三回目になります。栄養士より献立の方針や実績、食材の選定などについて報告を行い、そこから多くの方から意見をいただくことで、より良い献立作りを目指すというものです。今年は給食時間の参観、給食の試食もしていただきました。いただいた意見や感想には「(過去の給食の写真から)どの日も野菜を多く使っている。野菜料理にも色々なバリエーションがある。」「子どもの苦手なものを出すのは残菜も気になる場所なので難しいと思うが、できるだけ色々な味の経験をさせてあげられたい。」「佐倉の給食は地産地消が進んでおり、とてもおいしい。子どもたちにもその良さをもっと伝えられたら。」などがありました。今後も職員や生徒、保護者の方とのコミュニケーションを取りながら、子どもたちの食育に生かせるおいしい給食を提供していきたいと思えます。

